

事業名 特定重要港湾室蘭港港湾整備事業
(中央ふ頭旅客船バースの整備)

市街地に接近した、老朽化が著しい施設を、旅客船バースとして整備したことにより、本施設の核として、市民が港に親しむための賑わいと潤いのある空間形成の創出と、旅客船入港による国内外の文化交流の担い手として、地元住民と来訪者等から高い評価を得られている事業

受賞機関 北海道開発局室蘭開発建設部
室蘭港湾建設事務所
室蘭市港湾部

事業実施期間 平成7年6月24日～平成13年10月

事業費 2,494百万円

事業等の特徴

本事業は「北の玄関口」として新たな港湾空間を創出したものである。事業の実施にあたっては、建設副産物の抑制などにも努めた。利用にあたっては外国旅客船入港時に市民団体主催による「びっくり市」の開催(入場者は2日間で13,500人)や市民団体の主催によるクリスマスイベント「フェリーDEクリスマス」を開催した。

事業の概要と利用者等の評価

室蘭港中央ふ頭は、昭和11～27年に整備されたが、施設の陳腐化、老朽化が著しいことから、旅客船バースとして整備し、平成13年8月に供用した。

客船の入港によって、国内外の文化交流の担い手として、さらには景観を考慮した緑地を一体的に整備したことによって、港に親しむための賑わいと潤いのある空間が創出され、豪華客船入港との相乗効果も働き、市民が楽しめる施設として、地元住民と来訪者等の評価が高い事業の実現が可能となった。

計画・設計にあたっては、住民代表や有識者等をメンバーとした懇話会形式により地域の特性を生かした景観設計を実施した。

市街地に隣接していることから、多くの乗客らは飲食やショッピング等へ繰り出しており、また客船を見学するために、大勢の船マニアが訪れるなど、地元への波及効果も大きい。



全景



フリーマーケットの賑わい状況

新たな地域おこしへの貢献として、外国旅客船入港時に、ふ頭内での市民団体主催による「びっくり市」、市民団体主催によるクリスマスイベント「フェリーDEクリスマス」が開催された。

利用者の評価について、上記の両イベントの際にアンケート調査を実施。「また来たい」と回答したのは80%。来場の理由については、「商品の購入のため」が4割、次いで「旅客船の見学」が3割に上り、相乗効果が現れる結果となった。また、「港でこのようなイベントを開催すること」については、94%の人が「良い」と回答、「まちの活性化につながる」という理由が最も多かった。

審査委員会委員の意見等

- ・イベント時や入港時の活性化については効果が大きい。
- ・リユースがテーマとして今後活用方法を広げてほしい。
- ・地域における新たな賑わい空間として活用されている。

受賞賛助会員

国土総合建設(株)北海道支店、みらい建設工業(株)北海道支店